歳入構成は次のとおりです。

使用料・手数料など

4億9,980万円 (10.6%)

交付金など

1億4,518万円

(3.1%)

町債

4億4.389万円

(9.4%)

どのくらいの収入があるの?

意8,983万円

自主財源

21.0%

依存財源

79.0%

(10,4%)

特に「地方交付税」については53.6%を占めており、国に依存しているのが現状です。

歳入総額

国。道支出金 6億0,484万円

(12.9%)

# 特別会計って?

特別会計の歳入・歳出

一般会計の歳入

※前年度比 3,777 万円 (7.4%)減

⇒住民税や固定資産税など

平成 26 年度は

○使用料・手数料など

○地方交付税

○国・道支出金

○町債

○交付金など

れるお金

支出されるお金

【用語解説】

【町民一人あたり 14万7千円】

⇒公営住宅使用料や財産収入など

⇒支出に対して収入が不足する場合に、

国が一定のルールに従い配分するお金

⇒国や道が共同責任を持つ事務に対して

⇒大きな事業を行うときに借入れするお金

⇒国税の一部が、一定のルールで交付さ

納めたことになります。

特別会計は、一般会計と区分して特定の目的ごとに設置した会計のことです。

一般家庭に例えると、一人暮らしを始めた子どもたちのようなものです。

子ども(特別会計)が赤字となった場合、親のおサイフ(一般会計)から、補てん金(繰出金)を出します。 家計(町財政)の支出を抑えるためにも、子どもたち(各特別会計)が自立する努力が必要です。

町の収入に占める割合は、「地方交付税」、「国・道支出金」、「使用料・手数料など」、「町税」、「町債」、の順になっています。

地方交付税

25 億 1,980 万円

(53.6%)

47 億 0.334 万円

○町税

特別会計の歳入・歳出および繰出金は次のとおりです。

会計区分	歳入	歳出	差引額
国民健康保険	6 億 1,559 万円	5 億 8,947 万円	2,612 万円
介護保険	3億9,718万円	3 億 8,258 万円	1,460 万円
後期高齢者医療	5,784 万円	5,742 万円	42 万円
医療施設	1 億 3,904 万円	1 億 3,849 万円	55 万円
簡易水道	2億8,151万円	2億7,317万円	834 万円
公共下水道	2億0,725万円	2億0,522万円	203 万円
合計	16 億 9,841 万円	16 億 4,635 万円	5,206 万円

#### 【会計別繰出金】

国民健康保険 4.504 万円 介護保険 5.674 万円 後期高齢者医療 2,171 万円 医療施設 2.786 万円 簡易水道 4,156 万円 公共下水道 1億7.439万円 合計 3 億 6,730 万円





平成 26 年度の会計決算がまとまりました。

町の決算は4月から翌年の3月までの1年間、私たちのまちにどれだけの収入 があり、そのお金を何に使ったのかを表す、いわゆる町の家計簿のようなものです。 この決算内容は9月の町議会で審議され、一般会計のほか6つの特別会計を含 む全ての会計が認定されました。

昨年度、皆さんの納めた税金などがどのように使われたのかをお知らせします。

### 決算ってなんだろう?

豊頃町の一般会計の財政規模

決算とは、一会計年度(公共団体の場合は4月から翌年の3月まで)の歳入(収入)・歳出(支出) について、予算と実績を対比して確定することにより今現在の財政状況は一体どうなっているのか を把握するために行います。

決算は、会計ごとに行われます。

豊頃町には「一般会計」と6つの「特別会計」があります。

#### 一般会計

福祉や教育、道路整備など、町政運営の基 本となる会計

#### 特別会計

一般会計とは区別され、独立した特定事業の会計で、豊 頃町には、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療、 医療施設、簡易水道、公共下水道の6つの会計があります。

会計には、それぞれ「歳入(収入)」と「歳出(支出)」があります。

## 歳入(収入

- ●税金(町税) 使用料・手数料
- 地方交付税
- ●町債 など

# 歳出(支出)

- ●道路の整備や維持
- ●医療・福祉制度の運営
- ●産業の振興
- ●借金(町債)の返済 など

町の財政 (歳入・歳出) の規模は?

# 一般会計は 約 47 億円



# 特別会計は 16 億円

町民一人あたりの借金(町債)と貯金(基金)はどのくらい!?

借金現在高 69 億 2.907 万円

町民一人あたり

借金(町債)の残高は前年度より1億 **5,555 万円減少**しました。今後も残高は 減少する見込みですが、建設事業等の実 209万円 施により減少額は変動します。

経費削減等の効果により、26年度は 町民一人あたり 全会計 1 億 2, 9 5 7 万円の剰余金のう ち、5,480万円を貯金(基金積立)

32万円 することができました。

貯金現在高 43 億 7.597 万円

※「町民一人あたり」は平成27年3月31日現在の住民基本台帳人口(3,322人)により算出しています。